横浜型地域貢献企業として

弊社は平成20年に横浜型地域貢献企業の認定を受けて約1年半が経ちます。ここでは、2月末に行ったマネジメントレビューの概要と認定から1年半ほどの間で活動した社会貢献や環境に関する取り組み、また弊社と地域の皆様で一緒に行ったイベントの一部を紹介します。ここで紹介しているものはほんの一部ですので、もっと知りたい方は弊社ホームページ（http://www.ishii-zouen.co.jp）まで。

社会貢献に関する取り組み

横浜市が推進している150万本植樹行動に賛同し、またCSR方針にある緑を扱う者として地球環境の改善に貢献するということで、自社で受注した工事に関するイベント内や他社と共催したイベントで地域の方に苗木を配布しました。

弊社では150万本のうちの0.1%の1500本を平成19年度からの3年間で配ることを目標に、今年度開始現在1050本の配布を完了しており、今年度の目標として残り500本を配布します。

◇

NPO法人「東京湾水辺基盤協会」と協力して、横浜市金沢区にある野島公園の砂浜や第27回横浜開港祭で市民の方とゴミ拾いをしたり、NPO法人「I LOVE つづき」が主催する町の落書き消しの際に弊社が取り扱っている溶剤を提供し、一緒に消しました。

落書き消しの様子

◇

平成19年から本年まで3年間、地元の街路樹維持業務委託を受注しました。街路樹はまちに緑陰をもたらし、温暖化の防止に役立っていますが、落葉や毛虫の被害もあり、迷惑だと感じている方もいます。

街路樹が家の前にあることに価値を見出して頂けないかと考え、街路樹の消毒を施工する際、沿道のお屋敷限定で一軒大小に関わらず、3000円（通常価格の30%）で施工しました。

沿道の皆様から好評を頂き街路樹消毒の売上よりも多くの売上がありました。まちにおける緑陰の大切さを訴え、街路樹を少し好きになって頂けたと思います。

環境に対する取り組み

石井造園は環境問題にも取り組んでいます。CSR方針に「緑を扱う者として地球環境の改善に貢献します」を掲げ、横浜市の脱温暖化行動方針（CO-DO30）に共感し、2t車両の2台をバイオディーゼルで運行し、事務所内の蛍光灯はLEDを導入しています。また、ホームページ内には月ごとに水道水と電気の使用量、ガソリン、軽油の使用量（バイオディーゼルは除く）からCO_2の排出量を掲示し、情報を公開すると同時に、自社内でも傾向と対策を考える為の資料としています。

他にも神奈川県が推進するグリーン購入（購入の必要を充分に考慮し、品質や価格だけでなく、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入すること）に参加しています。

弊社ホームページ公開の環境負荷報告

	2008年10月	11月	12月	2009年1月	2月	3月
CO_2排出量（g）	3,400,448	3,076,069	4,812,304	3,918,460	4,425,344	5,442,572
ガソリン使用量（ℓ）	768	741	1,020	886	1,021	1,201
軽油使用量（ℓ）	500	413	842	604	686	910
BDF使用量（ℓ）（CO_2排出量0です）	180	180	306	506	260	380
水道水使用量（㎥）	26		21		25	
電気使用量（kw）	884	792	753	810	758	854

労働条件に関する取り組み

CSR方針に掲げているように、活きいきとした職場環境作りの一環として趣味や地域活動の為の休暇制度を平成19年度から設けています。こうした制度があると、形式的になりがちな育児休暇や介護休暇制度も利用しやすくなるのではないかと考えています。

情報公開に関する取り組み

弊社ではホームページ（http://www.ishii-zouen.co.jp）を公開しています。この中には会社概要はもちろん、スタッフや施工実績、先に出た環境負荷報告を毎月掲示しています。また、社員によるブログも公開し、普段あまりなじみの無い、造園屋の仕事や道具等の情報も公開しています。

仕事に対する満足度を計るお客様アンケートもそのまま公開しております。ぜひご覧ください。

コンプライアンスと個人情報保護に関する取り組み

(財)横浜市造園協会や建設業災害防止協会からの情報を意欲的に入手し、無知による法に抵触することを避けるように徹底しています。CSR方針にてコンプライアンスをうたい、関連の法令や、その改正に対応できる仕組みを構築し、運用しています。

個人情報保護については、当社の保護に関する規定を策定し、運用しています。

内部コミュニケーションの充実から

昨年度は内部コミュニケーションに力を入れました。今までにもつぶやきボードや、赤ファイルでの伝達工夫をしてきましたが、営業から現場作業員に顧客要求事項がうまく伝わらず、お客様に迷惑をかける事がありました。

顧客要求のレビュー記録を改定し、請求まで一貫してコミュニケーションが取れるようにしました。

また、毎月曜日に朝礼を実施し、社長から倫理的行動規範を伝えることにしました。安全・ISO・CSRの責任者から一言ずつ頂き、情報の共有化を図っております。最後に全員で神棚の前で心を一つに安全を誓い、新しい一週間が始まるようにしています。

◇

平成20年度が終了し、マネジメントレビューを行ったところ、計画（Plan）を立て、実施（Do）はしました。しかし、認定企業になりCSR方針及び目標を立てたのが初めてだったこともあり、評価（Check）～改善（Act）の部分がうまくいってないこともありました。

21年度は、無理のない計画の中で一つ一つの実施（Do）を費用の面と成果とで反省をし、年間の計画の進捗度を評価する中間審査を実施します。その仕組みを作ることが大切だと思い、平成21年度CSR目標の一番目に立てました。

緑化基金はじめました

20年度より弊社独自に緑化基金を設立しました。この基金は、現在弊社の工事・作業・手入れ等の全業務において、請求金額のうち末尾3桁の金額（1～999円）までを基金として集計し、さらにその同額を弊社からも寄附するものです。地域の学校や施設、団体などと相談し、年間の合計額を植樹や鉢植えの寄贈など緑化活動のための費用として大切に利用したいと考えております。20年度は合計84,512円が集まりました。今後も引き続き継続していきます。小さな活動ですが、地域のために出来ることを一歩ずつ積み重ねていきたいと思います。

ご協力頂いた方々

(宗)青木神社・(株)アートグリーン・(株)アサツーディ・ケイ・秋岡邸・秋本邸・荒井邸・飯島邸・生島邸・井上邸・池森邸・生田造園土木(株)・植木屋英樹・上郷邸・大船ルーテル保育園・大河商事(株)・開国博Y150イベント会場休憩施設設置委員会・(有)関東建設・神奈川県立大船フラワーセンター・神奈川県立環境科学センター・笠間連合町内会・(財)かながわトラストみどり・(社)かさまの社保育園・影山邸・ケーアイケーエンジニアリング・(株)九つ井・後藤邸・美樹建設(株)・坂本建設(株)・佐々木邸・斉藤邸・湘南建設(株)・権現町内会・(株)新世・鈴木邸・(株)センチュリー工業・関野邸・(有)造園サポート・(株)タツノ・メカトロニクス・大洋建設(株)・(株)泰山園・(株)タクト・(株)タクエー・タクエーカントリークラブ・田中邸・(宗)大光院・高橋邸・辰巳邸・東都建設(株)・豊田地域ケアプラザ・東洋英和女学院・東京海上日動火災保険(株)・中野地域ケアプラザ・並木幼稚園・奈良建設(株)・日本興亜損害保険・日本ファーネス(株)・野庭幼稚園・ハローワーク戸塚・畠山邸・平沼亭一君を偲ぶ会・原田邸・(有)福岡造園・(株)星・星邸・(株)松村組・三菱重工業(株)・三菱地所ホーム(株)・三好邸・(株)村上工務店・元町SS会・森野邸・横浜市・横溝邸・霊南坂幼稚園【敬称略・五十音順】

ついでに、無理なく、達成感のある活動

いの山東公園再整備工事
150万本植樹行動

ミツマタが大人気でした

「いの山東公園再整備工事」を施工した際、地元の上郷町内会より、工事期間中の現場内でどんと焼きを開催したいと申し出があり、トイレと場所を提供しました。

横浜市環境創造局が推進する150万本植樹行動に共感し、全体の0.1%に相当する1500本の苗木を3年かけて配布する活動をしていましたので、どんと焼きに来場した地域の皆様にユキヤナギ100本とミツマタ50本の苗木を配布し、みどりの大切さと育む喜びを伝えました。

この活動が評価され、今年4月にズーラシアで開催された「全国みどりの愛護のつどい」で皇太子殿下・妃殿下ご出席のもと、中田市長より表彰を頂きました。

現在、目標の1500本まであと450本。今年中に達成するよう、頑張ります。

上矢部第一公園施設改良工事
循環型社会を目指して

ケヤキ、サクラにキノコの植菌をしました

「上矢部第一公園施設改良工事」で、伐採した樹木を再利用してキノコのホダ木と樹名板を作製しました。

開園時から公園を訪れる地域の皆様に緑陰を作り、楽しませてきた樹木も今回の工事で伐採せざるを得ない程成長してしまいました。当初は産業廃棄物として処分する予定でしたが、戸塚土木事務所に相談して、枝を60cmから1mに切断し、シイタケとナメコの菌を植菌、また樹名板を小学生と一緒に作製しました。

自治会・愛護会の皆様が竣工式を開催してくださり、その中で配布しました。同時に150万本植樹行動の一環として、ヒメクチナシの苗木150本も配布しました。

公園樹木としての生業を終えた樹木は、地域の皆様の庭先でキノコのホダ木としてもう一度役目を果たすことになります。

仕事を通じた環境作り伝える

(財)横浜青年会議所の「はまっ子スクール2008」という事業の一環で、旭区にある善部小学校にて善部祭という催しがありました。この催しは小学校5・6年生がエコや環境、食品等の輸入や輸出についてグループごとに発表するというものでした。

その後に社長とスタッフで「生きた証しの種」ということについて講演しました。内容は、「大人の立場で仕事を通じたより良い環境作りと感動する心の大切さ」でしたが、講演は1年生～6年生までの全校児童が聞いていました。とても真剣なまなざしで聞いてくれて、こちらのほうが感動してしまいました。

児童も真剣に話を聞いてくれました

子供たちと自然観察

栄少年補導員や地元の小学生と、上郷地区の自然観察会を開催した時の様子です。

山の中にいる虫や小鳥、生えている植物を小学生に説明し、また人体に有害な虫や植物についても教えながら山を散策しました。

子供たちは普段見ないものを興味津々に見たり、スケッチをしたりしていました。

私たち造園屋がプロとして日頃当たり前のように取り扱っている知識・見識は、現在の子供達には目からウロコの事柄も多く、地域の先生として、まだまだ伝えなくてはならない事があると思いました。

虫や植物に子どもたちも興味津々